

JMoF 実行委員会 活動報告書

2019年7月～2020年6月

JMoF 実行委員会

はじめに

当会は2020年をもって結成8年目を迎え、Japan Meeting of Furrries（以下JMoF）の開催にあたっては、開催地や参加者の方々の多くのご支援のもと、発展してきた。こうしたご支援に応え、社会とのつながりを強固にしていくための取組をより推進していく。当活動報告書は、その取組の一環である。

1. 活動の成果

JMoF 2020 は現代表のもとで開催した初めてのJMoFであった。参加者は1,372人（前回1,332人）を数え、増加率はゆるやかとなったものの、世界のファーリーコンベンションの中でも高い水準を維持した。

JMoF 2020 の開催にあたり、年々発展の勢いを増しているケモノ文化の要請に応えるため、海外からのゲスト招致やステージの設備強化などについて投資を行った。国外のファーリー文化とのヒト・モノの交流を深め、国内随一のステージ演出が行えたことは、開催後に行った参加者アンケートにもおおむね好評として現れた。

JMoF 2020 の開催に係る収支を除いて大きな支出・収入はなく、上記の投資に伴い支出が収入を上回った。また、参加費総額の5%およびラッフルを対象とする豊橋総合動植物公園への寄付金額は1,383,100円となった。

2. 財産および損益の状況

(1) 貸借対照表

貸借対照表			
流動資産	1,612,206	流動負債	29,100
		純資産	1,583,106
資産合計	1,612,206	負債・純資産合計	1,612,206

(2) 損益計算書

損益計算書	
売上高	16,880,333
うち参加費	12,786,000
うちラッフル	743,800

売上原価・販管費及び一般管理費	18,365,689
うち寄付金	1,383,100
営業損失金額	▲ 1,485,356
営業外収益	2,028
経常損失金額	▲ 1,483,328
税引前当期純損失金額	▲ 1,483,328
法人税、住民税及び事業税	29,100
当期純損失金額	▲ 1,512,428

3. 今後の方針

コンベンションの機能拡充に伴い、今後も支出の拡大が予想される。参加者数の確保および収入面での強化を行い、営利を主目的としない範囲において収支のバランスを整え、安定した運営を長期に維持する。

JMoF 2021 は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大における社会情勢に鑑み、開催中止を決定した。これを契機に、当会ではケモノ文化の交流・発表の場をJMoF 開催以外の手段で提供する活動を併せて推進する。JMoF 2022 は通常開催する方針だが、上掲の社会情勢を引き続き注視する。

以上